総務文教常任委員長報告

(H 2 8 . 9 . 2 9)

総務文教常任委員会に付託されました議案について、審査の経過概要と結果を報告いたします。

まず、第1号議案、平成28年度亀岡市一般会計補正予算(第2号)所管分について、その主な内容は、

総務費では、自治体の情報セキュリティ強化対策、及び社会保障・税番号制度の総合運用テスト実施支援に係る、電算管理経費の増額補正、

また、地方財政法の規定に基づき、前年度決算剰余金の一部を財政調整基金に積み立てるための、財産管理経費の増額補正、

消防費では、大井分団消防ポンプ格納庫建築に係る、消防施設整備事業費の増額補正、

教育費では、小中学校の施設修繕のための、学校施設管理経費の増額補正であります。

別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

なお、指摘要望事項として、小中学校の施設修繕に係る増額補正については、当初予算額を大幅に上回る額が補正予算に計上されていることから、今後は、当初予算において、所要額を適切に措置されるよう望むものであります。

す。

次に、第6号議案、平成28年度亀岡市神前財産区特別会計補正予算（第1号）については、地域振興のための繰出金の増額補正であり、別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、第7号議案、亀岡市議会議員及び亀岡市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部改正については、公職選挙法施行令の一部改正に伴い、選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスター作成の公営に要する経費について、その限度額を引き上げようとするものであります。

別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、第8号議案、亀岡市放課後児童健全育成事業の実施に関する条例の一部を改正する条例の一部改正については、放課後児童健全育成事業の対象児童に係る経過措置について、その対象となる学年を小学校の長期休業日に限り、第6学年まで拡大しようとするものであります。また、放課後児童会の適正な管理運営に支障が生じないと認める児童会については、小学校の長期休業日に限らず、通年で受け入れをするものであります。

別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定し

ました。

次に、第9号議案、亀岡市文化財保護条例の一部改正については、文化財の保護、継承を図るため、文化財の指定及び選定の手続きを見直すとともに、文化財保護委員会に専門事項を調査する専門委員を設置すること等を行うものであり、別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

以上、簡単ではありますが、本委員会の報告といたします。

総務文教常任委員会
予算関係

一般会計補正予算

(良好で安全な教育環境を確保)

小中学校の学校施設管理経費

2800万円増額

良好で安全な教育環境を確保するため、小中学校の施設修繕経費を増額補正するもの。

【指摘要望事項】

当初予算額を大幅に上回る額が補正予算に計上されており、今後は、当初予算において、所要額を適切に措置されたい。

(第2回京都亀岡ハーフマラソン大会に対するスポーツ振興くじからの助成金が確定)

生涯スポーツ振興経費

640万円増額

平成28年12月1日(日)に実施される第2回京都亀岡ハーフマラソン大会の財源の一部として、独立行

政法人 日本スポーツ振興センターのスポーツ振興くじ、「Lotto」からの助成金の額が確定したことに伴い、大会実行委員会への補助金を増額補正するもの。

全員賛成

条例関係

(放課後児童会における長期休業日の受け入れを6年生まで拡大)

亀岡市放課後児童健全育成事業の実施に

関する条例の一部改正

放課後児童健全育成事業の対象児童に係る経過措置について、その対象となる学年を小学校の長期休業日に限り、6年生まで拡大しよつとするもの。

また、放課後児童会の適正な管理運営に支障が生じないと認められる児童会については、小学校の長期休業日に限らず、通年で受け入れを行う。

(施行日：平成29年1月10日)

【主な質疑】

問 放課後児童会に入会する児童が増えた場合、場所の確保などの検討はされているか。

答 児童数増加に合わせ学級を増設しているが、全学校で6年生まで通年受け入れができるよう場所や人材の確保に努める。

問 放課後児童会の時間延長については、今回の条例改正の中には含まれていないのか。

答 今回の条例改正の中には含まれていないが、引き続き検討していきたい。

問 児童の保育に当たる支援員等の配置基準は。

答 一定の基準を設けており、児童20人に対し、概ね1人の職員を配置している。

全員賛成